

平成 26 年 12 月 19 日

港湾局技術企画課

『港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会』  
の設置及び第 1 回委員会の開催について

近年の港湾工事においては、構造物の大型化や施工効率向上のため、大規模で複雑な仮設等を伴う工事が増加しています。また、厳しい気象・海象条件や複雑な地盤条件のもとで実施する工事も多くなっておりま

す。国土交通省港湾局では、これらを踏まえて、港湾工事全般の安全確保に資するよう港湾工事における大規模な仮設工等に関する汎用性のある知見や技術の蓄積を図ることを目的として、「港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会」を設置し、下記のとおり第 1 回目の委員会を開催致しますのでお知らせします。

## 記

日時：平成 26 年 12 月 25 日（木） 10：00～12：00

場所：合同庁舎 4 号館 1 階 123 会議室

議事内容（案）：大規模仮設工等の事例、検討体制、スケジュール、検討の方向性

## （取材等）

- 委員会は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）まで傍聴及び撮影が可能です。
- 傍聴を希望される場合は、12月24日（水）12時までに、件名を「港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会（第1回）傍聴希望」とし、氏名（ふりがな）、所属機関、連絡先（メールアドレス、電話番号）を明記した電子メールを「g\_PHB\_KSK@mlit.go.jp」へお送りください。
- 会議資料及び議事概要は、後日、国土交通省ホームページにて公開する予定です。

## 【問い合わせ先】

国土交通省港湾局技術企画課 坂井・加藤

TEL:03-5253-8111(内線:46502, 46526)、03-5253-8677(直通)

FAX:03-5253-1652

「港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会」について

1. 設置目的

近年の港湾工事においては、構造物の大型化や施工効率向上のため、大規模で複雑な仮設等を伴う工事が増加しています。また、厳しい気象・海象条件や複雑な地盤条件のもとで実施する工事も多くなっております。

国土交通省港湾局では、これらを踏まえて、港湾工事全般の安全確保に資するよう港湾工事における大規模な仮設工等に関する汎用性のある知見や技術の蓄積を図ることを目的として、「港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会」を設置します。

2. 主な検討項目

港湾工事の仮設工等における安全性向上に関する設計・施工等の技術的な検討を行います。

- ・大規模仮設工等を伴う港湾工事の事例分析
- ・仮設工の設計等に当たっての基本的な考え方、留意点
- ・仮設工の種類毎の設計、施工に関する留意点 等  
(本委員会での検討を踏まえ、検討項目を適宜追加)

3. 検討体制

本委員会は、国土交通省港湾局が設置し、学識経験者、研究機関及び行政関係者等のメンバーで構成し、実務的な検討を進めるため、実務担当者からなるワーキンググループを設置します。

【委員名簿】

(有識者)

磯部雅彦 高知工科大学 副学長  
高橋重雄 独立行政法人港湾空港技術研究所 理事長  
阿部雅二郎 長岡技術科学大学大学院技術経営研究科 教授  
菊池喜昭 東京理科大学工学部土木工学科 教授  
大幢勝利 独立行政法人労働安全衛生総合研究所建設安全研究グループ 部長代理  
山本修司 一般財団法人沿岸技術研究センター 理事  
佐藤孝夫 一般財団法人港湾空港総合技術センター 理事  
小泉哲也 国土交通省国土技術政策総合研究所 港湾研究部長  
山崎浩之 独立行政法人港湾空港技術研究所 特別研究官

(業界団体)

平尾壽雄 一般社団法人日本埋立浚渫協会 専務理事  
尾崎雄三 一般社団法人日本海上起重技術協会 専務理事

(行政)

浅輪宇充 国土交通省港湾局 技術企画課長  
遠藤仁彦 国土交通省港湾局技術企画課 技術監理室長  
松永康男 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部長

(ワーキンググループ代表)

下迫健一郎 独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋研究領域長  
水谷崇亮 独立行政法人港湾空港技術研究所地盤研究領域 基礎工研究チームリーダー  
井山 繁 国土交通省国土技術政策総合研究所港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室長

敬称略、順不同

4. 検討スケジュール

12月に技術検討委員会を設置し、技術的知見の蓄積・向上を目指して、3ヶ年程度をかけて港湾工事における大規模仮設工等に関して幅広く検討を進めます。

(以上)